



# 河童から土龍へ

初田 翠 緑

河の中許りに暮して居る河童が、陸に上つて訪問したのが、土龍の巢なる泥塊療會ドロクワイリヨクワイ、尿蘇機嫌の癡言と言はずに聞いて貰ひ度い。

- 一 道路改良の必要は、もう議論の時代を過ぎて實行期に入つて居る。實行は唯金の問題で、金さへあれば道路の改良なんか朝飯前だ。昨年十一月號所載岡崎久次郎氏の「道路改良の好財源」と題する記事は名案の一つであると思つた。もつと智慧を絞つたら名案が未だくあると思ふが、斯云ふ問題を抽象的でなく、具體的に、計數的に、凡そ幾何位の
- 財源が得られるかと云ふ事を調査して貰ひ度いものだ。改良必要論の聲はもう澤山、早く弗箱を探し當てる事だ。弗箱さへあれば大藏省も嫌な顔をすまい。
- 二 日本内地の國道延長約二、一〇〇里、府縣道延長約二、七〇〇里、市道延長約五、二〇〇里此の總計約三二、〇〇〇里もあるが此の中舗装されてるものが約五百萬坪（歩

道も入れて)、假に幅員を四間とすれば舗装延長約五八〇里全體のたつた二パーセント弱に過ぎない。此の數字を見ても如何に砂利道路——中には砂利も碌々入つて居ないものが澤山ある——許りであるか、判るだらう。都市に於ける高級舗装の研究は米國に任して置いてよい。當面此の九十何パーセントの、砂利道路の實行性ある經濟的改良方法の研究と普及に、もつと力癩を入れて貰ひたいものだ。

三 其の一助として、(イ)各地で實地にやつた種々の改良工法を選択して發表すること、(ロ)懸賞で改良工法や維持方法を募集すること、(ハ)地方の道路改善に直接功績あつた人達(技手、工手、工夫、地元民を)表彰するてな事をやれば、道路の改良も出来るし愛護熱も相當煽れるだらう。

四 道路改良會主催で時々開かれる講習會は誠に結構な企であることを否まない。が遙々地方から出席して聽講する人達の中には、東京見物氣分で御義理に聽いてると云ふ風がないでもない。眞面目に聽講した人達でも習得した事を自分だけに藏ひ込んで廣く之を僚友に傳授すると云ふ様

な様子も餘り見受けない。一片の復命書が御土産になるだけでは、折角貴重な時と金を費つた甲斐がない。講習課目が六ヅカシ過ぎるのか、ピントが外れてるのか、「何がそうさせるのか」よく考へたらよからう。

五 地方で現場の監督に當つて居る人達には「實地道路橋梁工學」とでも云ふべきスゲ間に合ふものを、平易に吹込む必要があるのではなからうか。高級な講習會を東京見物の口實に終らせる位なら斯様な平易講習會を地方巡業的に開いた方が、餘程効き目があるかも知れぬ。是非やり給へ。

六 日本も現下の財政状態では當分砂利道路で我慢するより仕方があるまい。砂利道路の生命は砂利だが、砂利のない處ではドーロでなくてドロだ。殊に粘土質の山道では此の憂き目を見て居る。而し山間部にはよく轉石がある。之を利用しないのはウツだ。斯んな處に運搬に便で、丈夫で、安價で、取扱ひが簡單で、運轉費の餘り掛からぬ碎石機があればよいと思ふ。市場にある碎石機では問題にならぬ。洋行費への補助も結構だが、斯んな道路工専用の機

械器具の發明改良にも少し骨を折つて貰へないか。

七 歐米を旅行してゐる時、トラクターを道路工事に使つてゐるのをよく見た。砂利の運搬、ローラーの牽引等々に。何故日本では斯んな便利なものを使はないのかと、同行の土龍の親方に聞いたら「多分喰はず嫌ひなのだらう」と笑つて居た。自分は河童だから分らぬが、兎角土龍はミミズやオケラが好きだから成程と思つたが、未だ他に喰へるものが澤山ある様だ。喰はせる様にしたらどんなものだ。

八 貧乏國では、海の彼方の成金國の様に端から端まで高級舗装はとても望めぬし又必要もない。當分は簡易舗装位で我慢するより外仕方があるまい。之とても輸入品やロヤルティを拂ふ代物を使ふのでは仲々高くてやりきれぬ。近頃種々の國産エマルジョンの特許品が現れたのは聊か心強いが、賣込屋の自家廣告だけではどれがよいのやら見當がつかぬ。何處にも當りサハリのない改良會あたりが試験官になつて玉と石を判別して呉れれば使ふ方の者には安心だが。

九 昇格問題のウルサイのは學校許りと思つてたら、町村道を府縣道に釣り上げるのに随分騒いで居る。昇格したからとてドロは依然ドロでドーロにならず、結局選舉地盤固めの足し前になる許りかと思へば阿呆くさくて腹も立てられぬ。斯くして名だけの府縣道が矢鱈に出來 實之に伴はず。之も政策上止むを得ぬと云へばそれまでだが、之では何時まで經つても改良は出來ない。要は量より質だ。路政家シツカリして呉れ。

十 土木課長が道路課長になつてしまつたと慨嘆した人が居る。それどころではない土木局長が道路局長になりそうだ。道路は當世のハヤリツ兒だもの。自動車道路が産業道路になり、それが失業救済道路に早替り。實以て智惠者には敵はない。水がありやくそ河童も河流れ、段々干上る今日此頃では、河底にへバリ付いてるのが精々だ。フレ、フレ、道路!!!